
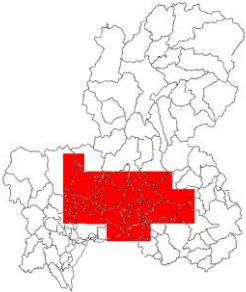


ヤノネシダ	<i>Leptochilus buergerianus</i> (Miq.) Bosman	絶滅危惧Ⅱ類
		ウラボシ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が川岸や道路沿いの岩場など不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。愛好家による園芸採取も多い。	写真(村瀬正成)
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は長く這う。葉身は単葉でやや2型を示し、三角形-披針形まで変化が見られる。本州(伊豆諸島、千葉県以西)・四国・九州に分布する。岐阜県では県南中部に分布するが生育地は少ない。	
生態的特徴	山地の湿った地上から岩上や樹幹に生育する。	
分布状況	本州(伊豆諸島、千葉県以西)から九州に分布する。岐阜県では県南中部に分布するが生育地は少ない。	
減少要因	山林開発、道路工事、治山工事、岩場の自然崩落などによる生育地の消失。愛好家による採集圧も考えられる。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成